

**札幌市における  
コミュニティ・データセンター事業の取り組み**  
～協働型社会における地域産業振興モデルとして～

---

2002年7月19日

(財)さっぽろ産業振興財団  
町田 隆 敏

**コミュニティ・データセンター(CDC)とは**

- **CDCの定義**  
iDC(Internet Data Center) やASP(Application Service Provider)の手法を活用し、コミュニティ(生活圏、経済圏等)内の官民が運営する情報システムに係る機能と情報の集約によって、サービスの高度化・効率化が実現できる機関であり、次の4つの要件を満たすもの

- 要件1 コミュニティ内のITを活用したサービスの高度化・効率化に寄与すること
- 要件2 官民が共有できること
- 要件3 ITを活用したサービスの高度化を図るため、標準的な技術を利用し、有機的な機能連携が容易にできる環境であること
- 要件4 上記三要件のノウハウを蓄積及び活用できること

↓

**官民がコストをシェアすることにより、低コストで複数のサービスの提供とサービス連携が可能となる。**

**札幌市におけるCDC活用方針**

- **CDC活用の基本方針**  
札幌市は、地域における新たなバリュー(価値)の創造と交換のためにCDCを活用し、その循環を通じて、市民、企業、行政が連携し合う“協働型社会”の実現を目指す。
- **CDCを通じて3つのバリューの創出と交換**  
商財…カネの価値  
人財…ヒトが活動・行動することから生まれる価値  
(例: ボランティア活動、市民活動等が生み出す経済的価値)  
物財…モノの価値  
(例: リサイクルに利用できる大型ゴミ等の資源としての価値)

↓

**従来からある「カネ」の価値だけでなく、「ヒト」と「モノ」の持つ価値を評価し、CDCを通じてこれらの価値を「ポイント化」して流通させ、3財相互におけるバリュー交換の仕組みを作る。**

# バリューの交換から協働型社会へ

## ・ CDCを活用したバリュー交換のイメージ

### 【商財】

- ・ 商店街や個店におけるポイント発行サービスおよびポイント交換サービス
- ・ 商店街発行ポイントのボランティア団体への寄付 etc.

### 【人財】

- ・ ボランティア、市民活動に対するポイント付与、ポイントの多目的利用 etc.

### 【物財】

- ・ 廃棄パソコンに対するリサイクルポイントの付与、学校へのポイント寄付 etc.



市民、企業、行政の各々がバリューを生み出し、相互に交換するしくみ  
バリュー交換を媒介とした新たな経済システムの形成



**“協働型社会”=札幌市の目指す都市像 の実現**

